

新島基金による新島講座について

同志社創立百周年記念事業の一環として同記念事業寄付金の一部をもって新島基金が設立されました。

○新島基金の目的

新島基金は、同志社立学の精神にもとづき、人間教育を強化し、教育内容の高度化を図り、教育、研究の国際交流を推進し、もって一国の良心たよりうる人材の育成に資することを目的とし、

基金の果実をもって (1)新島講座の開設 (2)新たな奨学制度の開設 (3)教育・研究の国際交流の推進などを行うことになっております。

○新島講座

新島講座は、つねに時代を先導する同志社の教育と研究が、更に一層充実、発展し、またその成果が社会の進展に寄与するようにと願って新島基金の目的事業の一つとして設立されたものであり、内外の碩学を招聘し講演会などを開催する講座と、本学園教職員がその研究成果を発表する東京講座の二種類を毎年開催することになっています。

第四回新島講座東京公開講演会

昨年十一月十二日(土)東京・ヤマハホール(中央区銀座七丁目九―十四)にて、

東京公開講演会が開催されました。

(クラビシアページに講演模様を掲載)

新島講座は、我が国の学術、文化の発展に

資するため、現代にふさわしいテーマをとらえて、かねてから公開講演会を開催しており、今回で四回目を迎えました。

十三時三〇分から始まった講演会は、上野総長のあいさつ、本部庶務部長の司会により河野仁昭学校法人同志社社史資料室室長、岡仁詩同志社大学文学部教授の順で行われました。

演題ならびに講師

○新島襄全集をめぐって

学校法人同志社社史資料室室長、河野仁昭氏

○同志社ラグビーとともに

同志社大学文学部教授、岡仁詩氏
東京公開講演会も今回で四回目を迎え聴講者も過去三回と同様多く成功のうちに終わりました。

なお、本年の東京公開講演会は、十一月十七日(土)東京・ヤマハホールで開催の予定であります。